

第62回愛知県消防操法大会 第4分団出場



知立市消防団は、毎年開催される県消防操法大会で優勝1回、準優勝2回、幾多の入賞と、輝かしい成績を収めてきました。今回市を代表し出場する第4分団の選手は、県大会優勝を目指し、連夜猿渡小学校校庭や竜北中学校校庭で訓練に励んでいます。

また、他の消防団員も、訓練時のホース巻きを手伝うなど、知立市消防団が一丸となりバックアップして

います。市民の安心・安全を守る消防団員へのご支援をよろしくお願ひします。

○愛知県消防操法大会
▼とき 8月5日(土)
▼予備日 8月6日(日)
▼ところ 碧南市港南町1丁目3番地(2号地多目的グラウンド)
▼問合せ 安心安全課 防災係 (☎95)0160)

応援よろしくお願ひします！

我が第四分団としては、知立市の代表という責務を胸にまた、協力・応援をいただいているすべての方への感謝の気持ちを持って、日々の訓練に精進するとともに指揮者をはじめ、選手・団員・



第4分団長
池田滋幸

「大会出場に向けての抱負」

OBのオール第四分団で大会に向けて全力で進んでいきます！
自分の地元は、自分で守るの合言葉の元、より強固なチームワークをはぐくみ、安全かつ確実な消防技術を習得することが大会の意味と位置づけし、最後まで頑張ります。

私たち消防団を引っ張って行っていたらいる正副団長とともに、8月5日に優勝の報告を皆さんにできるよう、最後まで精進します！
応援よろしくお願ひいたします。



消防団長
野々山和義

「消防操法大会へのお願い」

市民の皆様、また消防団員のご家族、従業員にもつ事業主様には、日頃より消防団活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、8月5日に開催されるポンプ車操法県大会へ向けて、市代

表の第4分団が、猿渡小、竜北中を訓練会場とし、大会前夜までの約3か月間訓練を実施しています。近隣住民の皆様には、たいへんご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようよろしくお願ひ致します。訓練の様子は誰でもご自由に見学できますので、ぜひ、お子さん、お孫さんを連れて、消防車からの放水、選手の機敏な姿をご覧ください。

『自分たちの街は自分たちで守る！』日夜訓練に励んでいる消防団員に、市民の皆様の大きな声援をよろしくお願ひいたします。

第4分団員紹介



指揮者
毛受裕貴
[上重原町(32歳)]

私たち第4分団は、来る8月5日碧南市で開催される第62回愛知県消防操法大会ポンプ車の部に、知立市を代表して出場いたします。この操法大会に向けての訓練では、昼夜問わず発生する災害に於いて迅速かつ確実な操作を行い、消防団の団結力を高める大会だと考えています。高い消防技術の向上を図るため、優勝を目指し日々訓練に励んでおり、大会当日は、訓練の成果を精一杯発揮し、支えてくださった皆様への感謝の気持ちを忘れず、最高の形で返せるよう頑張りますので、応援をよろしくお願いいたします。



(敬称略)



1番員
曾田浩史
[新林町(25歳)]

皆を信じ火点を一瞬で倒し微動だにせず耐えます。



2番員
山田若志
[昭和(26歳)]

操法の花形なので見せる所をみせ大会1の2番員を努めさせていただきます。



3番員
小嶋岬
[ハツ田町(26歳)]

優勝を目指して全力でがんばります。



4番員
加藤勇二
[谷田町(29歳)]

僕の送水操作により優勝を勝ち取ります。



補助員
松山周平
[谷田町(30歳)]

大会No.1の補助員を目指します。



補欠
中村由良
[上重原町(27歳)]

すべての番員をこなし、いざという時は僕がいけます！

消防操法訓練の見所

1. まっすぐに伸びるホース
操法大会で使用されるホースは1巻きの重さが7kg、長さ20メートル。これらを3本繋げて「1線」とし放水します。ホースがねじれていたりすると水圧が低下し、消火に十分な放水ができないので、正確かつ素早くホースを延長する必要があります。



2. 正確な放水
放水時にホースの先端にかかる力は家庭用ホースを使用する時の100倍以上となります。放水時の反動が非常に強いもののその力に負けることなく10メートル先の火点をどれだけ素早く倒す事ができるかがポイントです。



3. 規律
実際の火災現場では、正確かつ機敏な行動や作業の確認が不可欠です。消防訓練では、規律ある行動と正確な動作を行っているかが重要なポイントになります。

